いわき市役所
受付
-6.5.31
第　号
廃

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

2024　年　　5 月　 30 日

いわき市長　　　殿

提出者

住　所　福島県いわき市小名浜林城字辻前2

氏　名　　前田道路株式会社いわき営業所

所　長　　　　　大樂　吉伸

電話番号　　　　　0246-58-6211

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	前田道路株式会社いわき営業所
事業場の所在地	いわき市小名浜林城字辻前2
計　画　期　間	2024/4/1～2025/3/31
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事　業　の　種　類	総合建設業
②　事　業　の　規　模	2023年度いわき市内元請工事完成工事高92,765千円
③　従　業　員　数	10人
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

（日本工業規格　A列4番）

（第２面）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　2023　年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片
排出量	149.37　t	1209.27　t

（これまでに実施した取組）

普段は下請工事中心の受注形態であるが、昨年度は舗装で比較的大型の元請工事の受注によりアスファルト・コンクリート破片の排出量が増加した。

抑制に関する取り組みとしては、分別搬出を徹底し、工事によっては切削オーバーレイ工法等排出量が抑制できる工法で施工した。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片
排出量	150　t	900　t

（今後実施する予定の取組）

今年度に関しては大型の元請物件を受注する予定はなく、排出量が減少する予定だが、引き続き分別搬出を徹底し、排出量が抑えられる工法を検討して施工するように努力する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

現場でアスファルトガラ・コンクリートガラに分別し、それぞれ別々に中間処理場へ排出している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

今後も継続して現場での分別を徹底する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（　　　　年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（　　　　年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

（第４面）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（　　　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片
	全処理委託量	149.37 t	1209.27 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	149.37 t	1209.27 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 再生利用業者へ全量処理委託し、再資源化を図った。		

<table>
<tr><td rowspan="9"></td><td rowspan="9">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>コンクリート破片</td><td>アスファルト・コンクリート破片</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>150 t</td><td>900 t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
引き続き再生利用業者へ委託し、再資源化を図る。</td></tr>
<tr><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
	排出量	0.01 t	6.4 t
	（これまでに実施した取組） 分別排出を行った。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
	排出量	0.1 t	5 t
	（今後実施する予定の取組） 分別排出を継続して行う。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 出来るだけ細かく分別を行った。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 今後も継続して分別を徹底する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（　　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（　　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（　　　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（　2023　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
	全処理委託量	0.01　t	6.4　t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.01　t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	6.4　t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 該当する許可品目の許可を持ち適正に処理ができる業者を選定し、委託した。		

<table>
<tr><td rowspan="9"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>廃油</td><td>廃プラスチック類</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>0.1 t</td><td>5 t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
引き続き適正に処理ができる業者を選定し、書面による事前契約を徹底し委託する。</td></tr>
</table>

※事務処理欄	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　2023　年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
排出量	6.84　t	1.42　t

（これまでに実施した取組）
分別排出を行った。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
排出量	6.5　t	1　t

（今後実施する予定の取組）
分別排出を継続して行う。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
出来るだけ細かく分別を行った。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
今後も継続して分別を徹底する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（　　　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（　　　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（　　　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（　2023　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
	全処理委託量	6.84　t	6.4　t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	6.84　t	6.4　t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 該当する許可品目の許可を持ち適正に処理ができる業者を選定し、委託した。		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
		全処理委託量	6.5 t	1 t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 引き続き適正に処理ができる業者を選定し、書面による事前契約を徹底し委託する。		
※事務処理欄				

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（　2023　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合	
	排　出　量	0.13　t	t
	（これまでに実施した取組） 出来るだけ分別排出した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合	
	排　出　量	0.1　t	t
	（今後実施する予定の取組） 分別排出を継続して行う。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 出来るだけ細かく分別を行った。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 今後も継続して分別を徹底する。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>管理型混合</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>管理型混合</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>管理型混合</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>管理型混合</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（　　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（　2023　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合	
	全処理委託量	0.13　t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 該当する許可品目の許可を持ち適正に処理ができる業者を選定し、委託した。		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	管理型混合	
		全処理委託量	6.5　t	1　t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 引き続き適正に処理ができる業者を選定し、書面による事前契約を徹底し委託する。		
※事務処理欄				

（第６面）

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

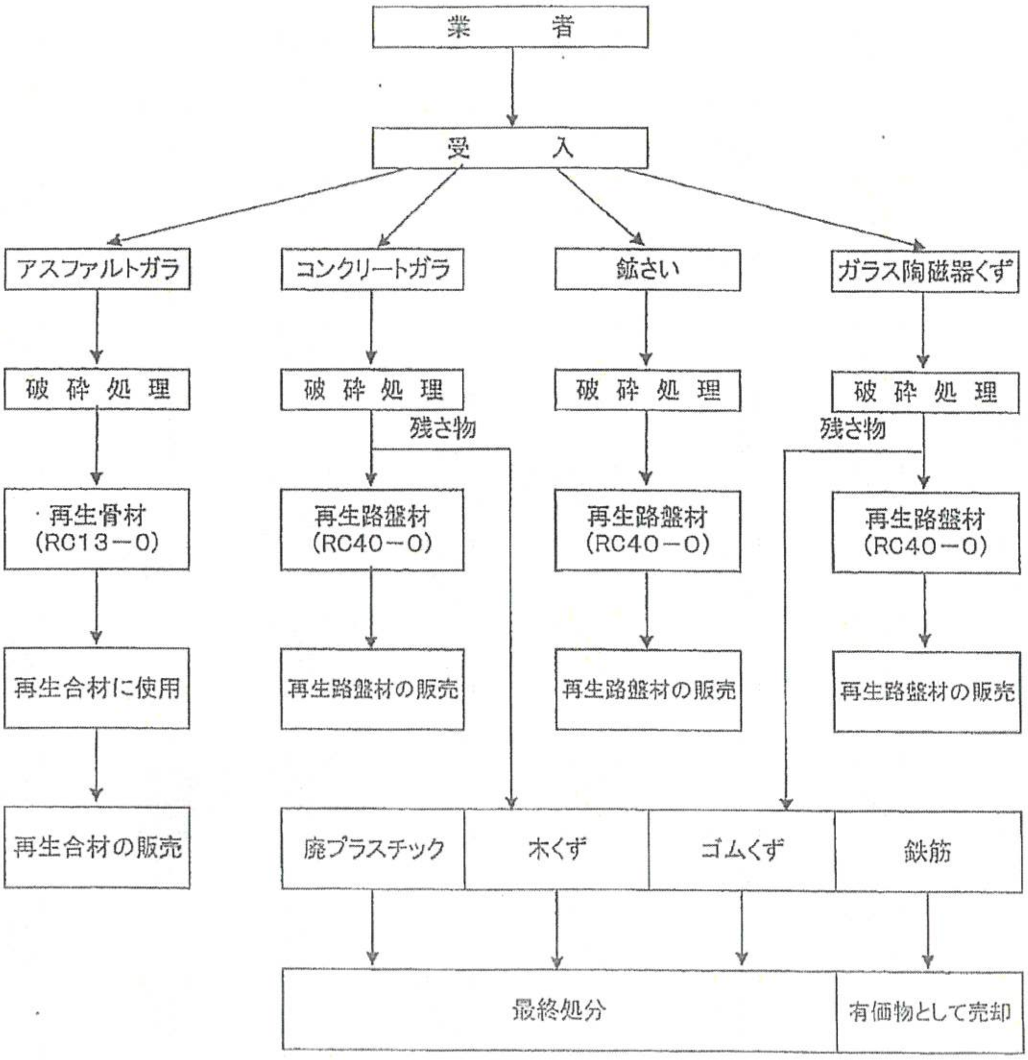
6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

コンクリート破片　アスファルト・コンクリート破片

前田道路株式会社

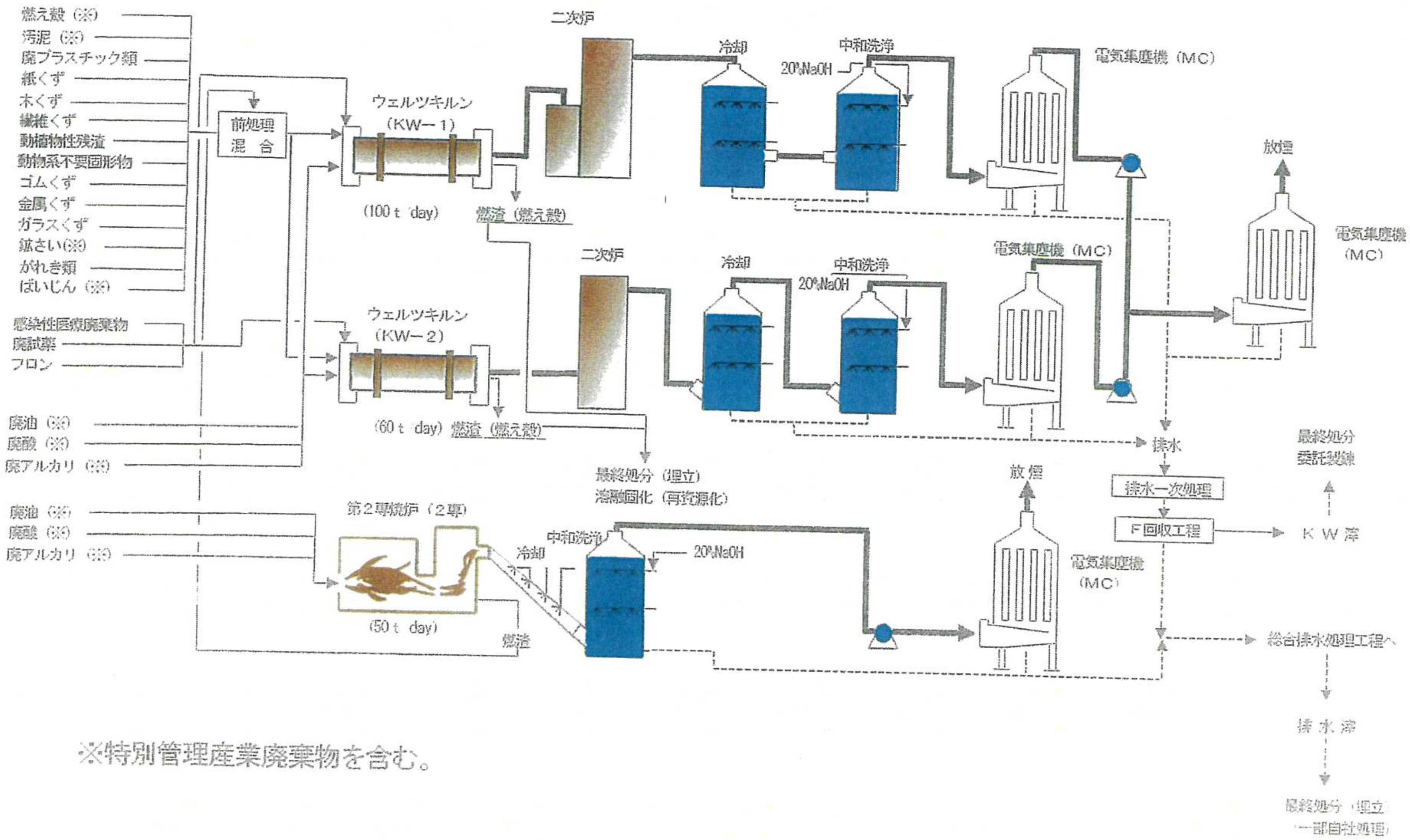
製造工程（環境負荷低減）



廃油

産業廃棄物処理工程図

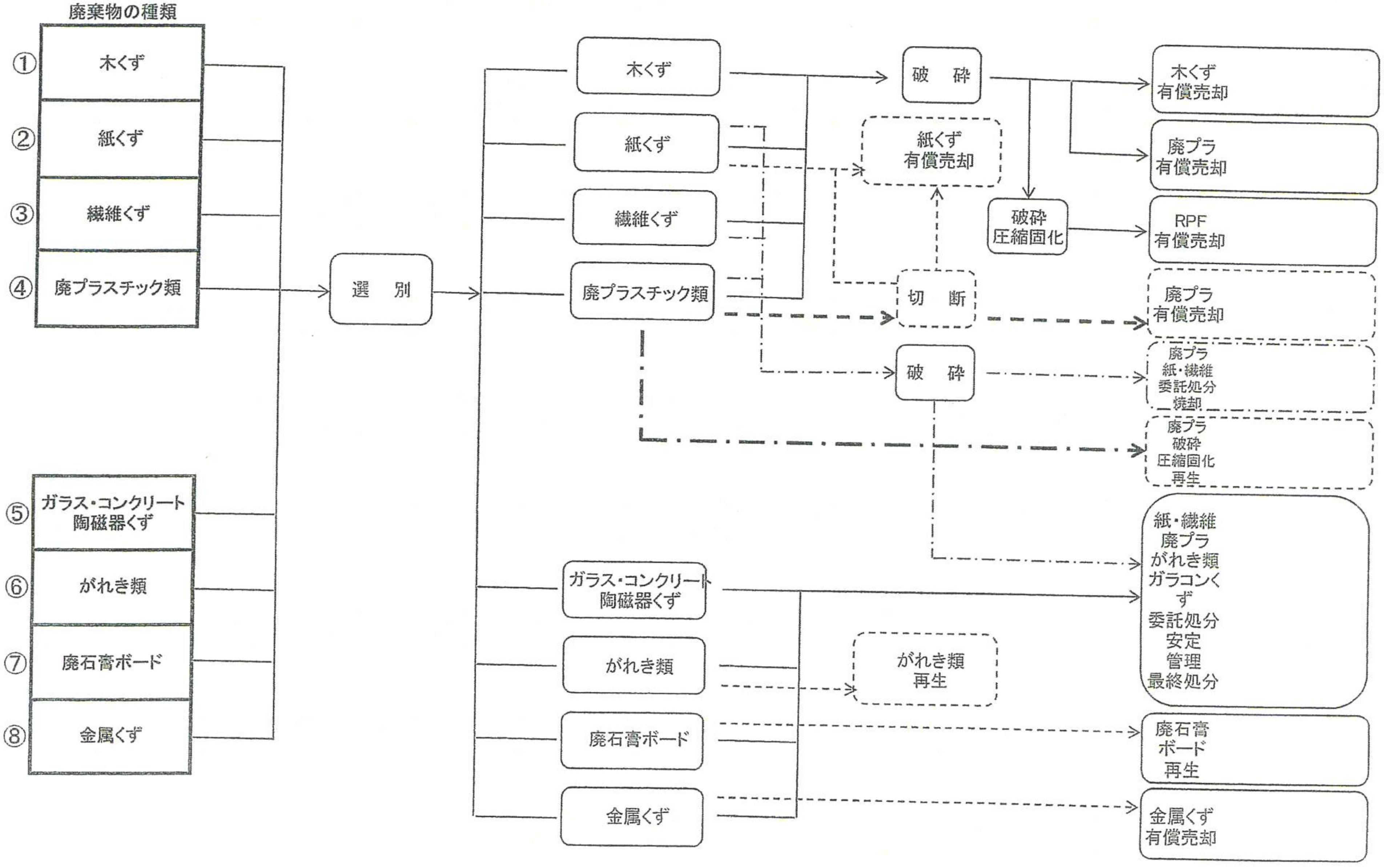
日曹金属化学株式会社 会津工場



※特別管理産業廃棄物を含む。

溝井紙商(株)　廃プラ　管理型

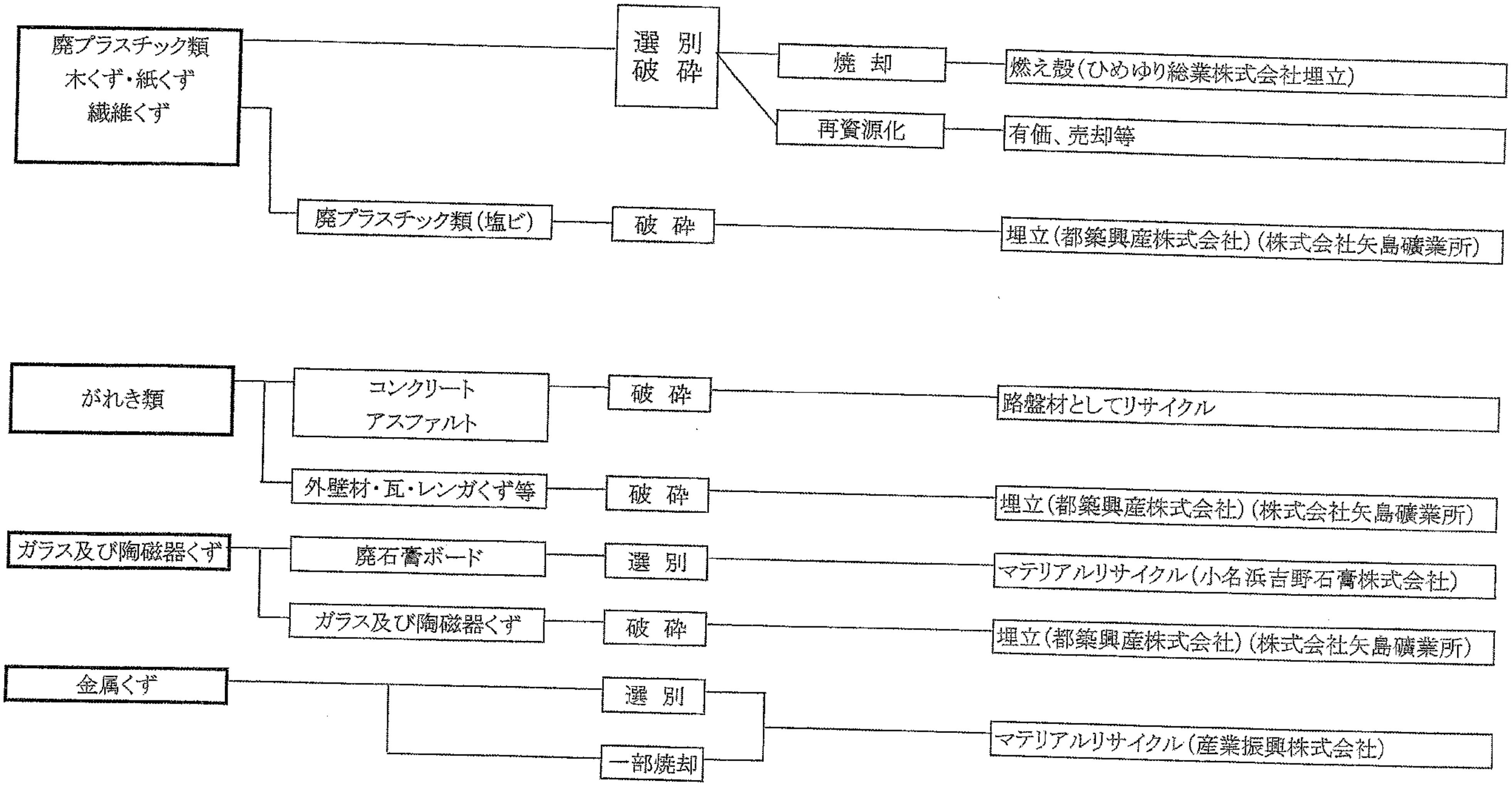
いわきエコリサイクルセンター処分先フロー図



木くず

株式会社トラスト環境

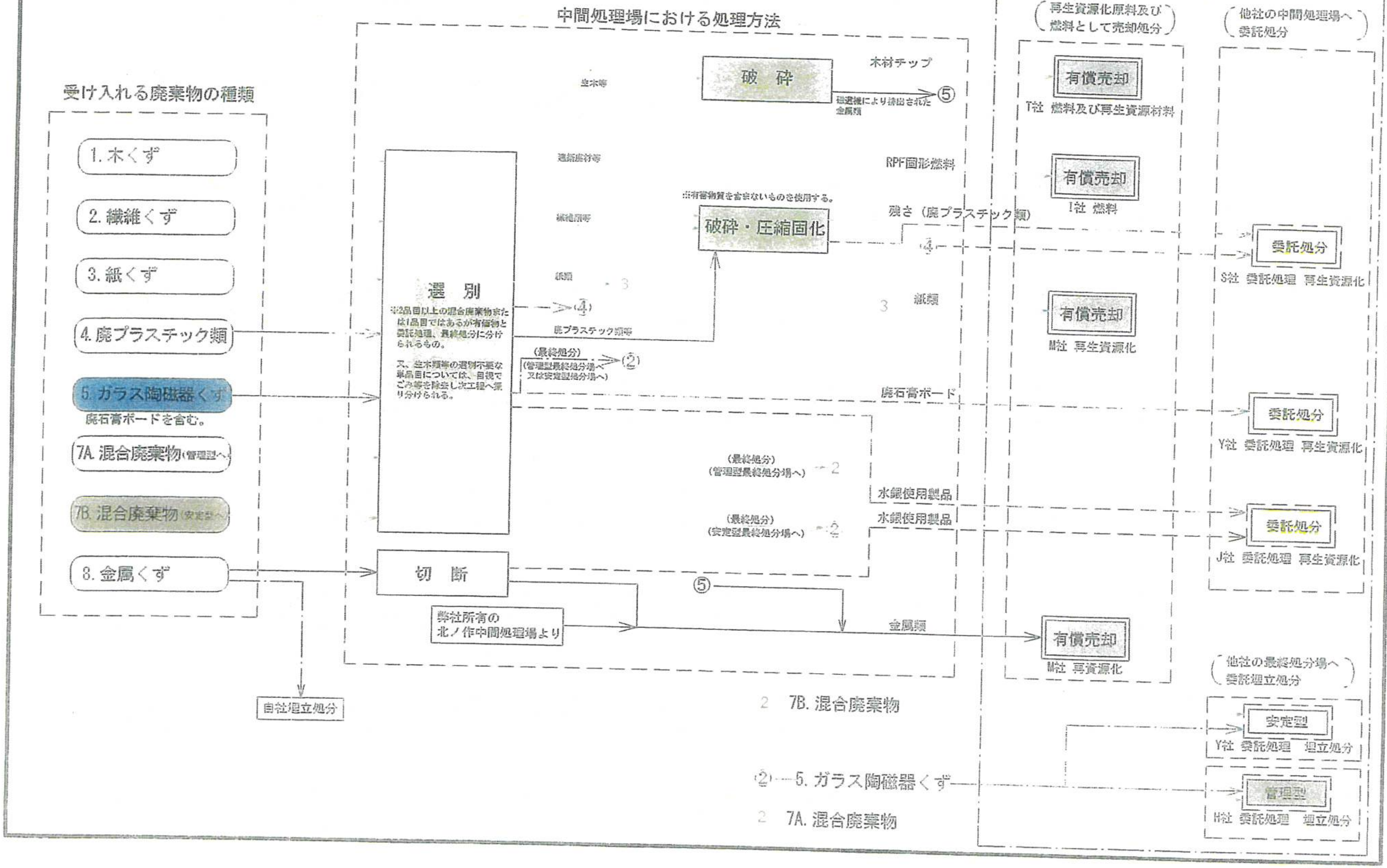
産業廃棄物処理フロー

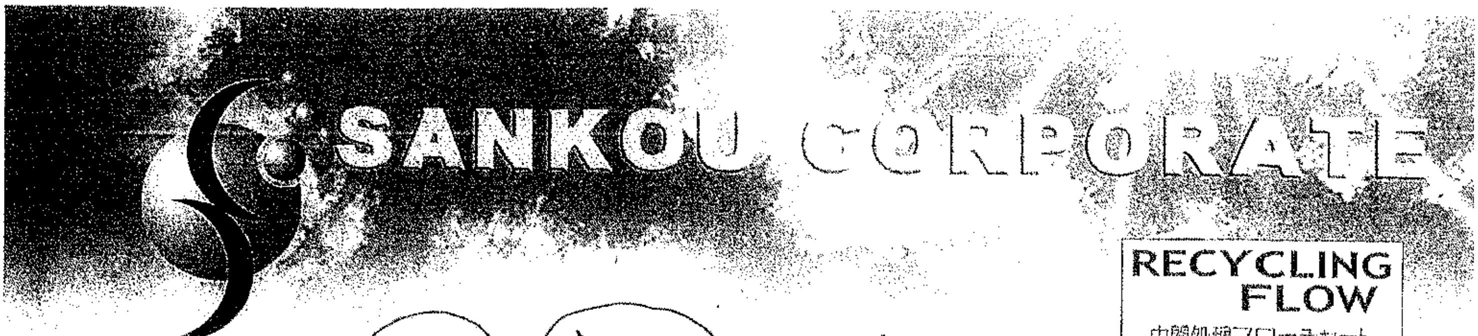


木くず

有限会社鷲研り　大剣環境センター

産業廃棄物処理工程概要図

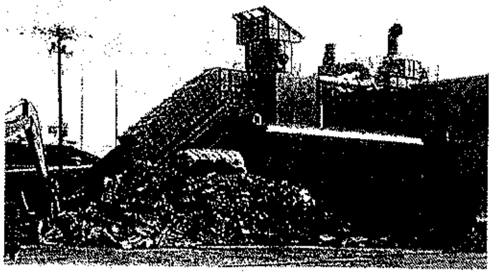


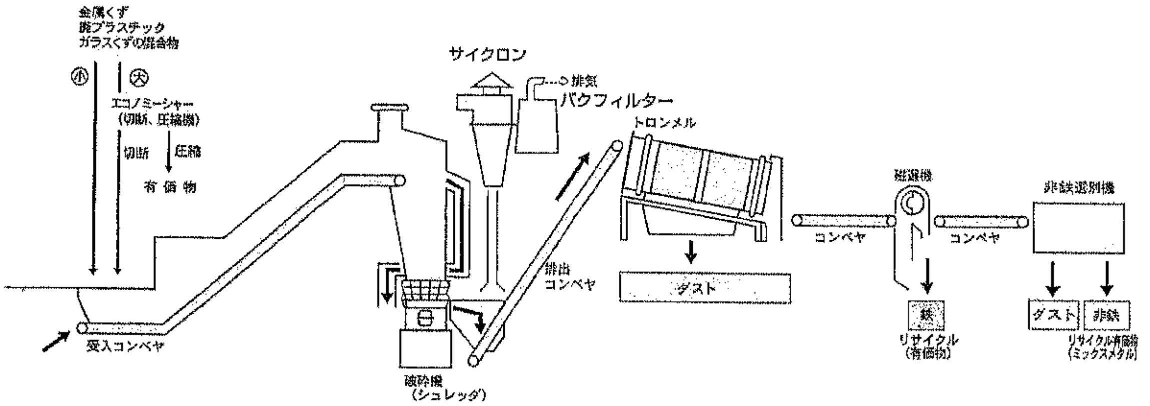


RECYCLING FLOW
中間処理フローチャート

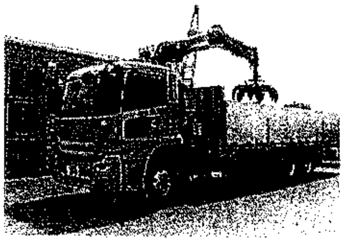
㈱三鋼 (廃プラ)・(金属くず)

廃棄物処理
フローチャート

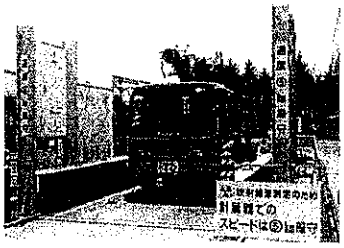




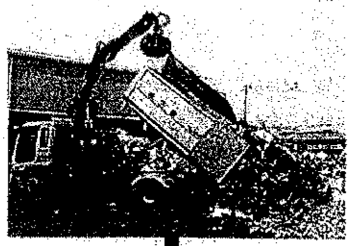
収集・運搬



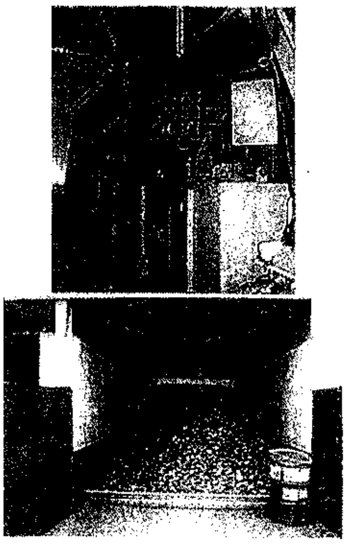
計量



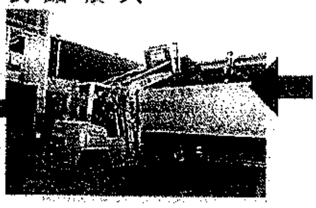
荷おろし



破砕選別加工



製品積入

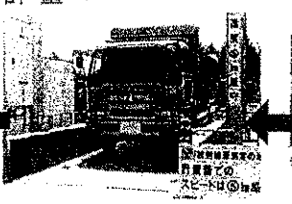


計量

出荷

ダスト積入

計量



出荷

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

●管理体制図（前田道路株式会社いわき営業所）

東北支店安全環境品質部

↓

いわき営業所所長（廃棄物処理責任者）

廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認

↓

いわき営業所工事課長、係長、職員、関連会社に対する教育、啓発

産業廃棄物に関する教育、啓発

↓

いわき営業所事務職員、土木職員（現場担当者）

委託契約書の作成、締結	産業廃棄物管理票の交付、管理